

私たちの活動や意見を仲間
で共有します。
会費は県と日本平和委員会
の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2022年11月15日 第369号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP://tutiuraheiva.web.fc2.com/

岸田政権がめざす危険な道は許さない！ 大軍拡・改憲No.の運動を広げに広げよう

岸田政権がめざす道 (2022年日本平和大会学習パンフレットは訴える)

I. 「反撃力(敵基地攻撃能力)」とは？「平和国家」を壊す道

II. 日本が核戦場になる危険、米ミサイル戦力との一体化

III. 軍事費倍増(11兆円)、世界3位の軍事大国への道

IV. もう始まっている他国攻撃の大軍拡

今年の日本平和大会の開催(11月26、27日)が迫っています。全国各地でのオンライン開催に呼応して、土浦でも試聴会が行われます(詳細は裏面)。今年は、ロシアによるウクライナ侵略が続く中、岸田政権の大軍拡・憲法改悪の危険性がにわかに高まる情勢になっています。

大会の開催に合わせて作成された「学習パンフレット」は、参院選で3分の2以上の議席を占めた改憲派・岸田政権の危険性を様々な方向から明らかにしています(上見出し)。

さらに、岸田政権の下ですでに世界も驚くような首都周辺の基地強化が進行していることを告発しています。これは私たち茨城県にとっても他人事ではありません。百里基地では自衛隊戦闘機部隊の米軍との共同訓練やオスプレイ訓練など進んでいます。百里基地反対連絡協議会(県平和委員会も加わる)は「百里基地での深夜、未明に於ける訓練の中止を求める申し入れ」を緊急におこなっています。また、11月10日茨城県議会では、日本共産党の江尻県議が百

里基地での昼夜連続飛行訓練による騒音などで地元住民が苦しんでいる実態を告発し、訓練の中



2022年平和大会学習パンフレット
ご希望の方はお声かけください



止を訴えました。

学習パンフレットは最後に私たちが進むべき道として、①憲法9条活かし東アジアに平和の礎を、②憲法9条活かし積極的な平和外交を、③憲法の理想いまこそ！核兵器も軍事同盟もない世界めざして、と訴えています。

ご案内

土浦平和の会 ホームページのメンテナンス完了 結成から28年余の歩みを是非ご参考に

「土浦平和の会」のホームページは1994年4月30日の結成時からの役員である井上仁志理事(初代事務局長)が、営々とニュースや活動記録などの掲載を積み上げてきました。本号が369号ですから、月1回の発行が果たされてきたこととなります。

このほど、一貫してホームページを支えてきた井上理事の手で、メンテナンスが完了しました。



日本平和委員会のHP
ここからも土浦のページへ行けます

【ニュース担当から一言】

私も時折ホームページから28年前のニュース第1号を見返し、数え切れないほどの教えを受けてきた、故中島義夫初代代表理事の名前と訴えを読み返しています。ホームページから辿るニュースの数々はかけがえのない学び場です。

●アクセス方法

裏面下のQRコードから入る。または日本平和委員会や県平和委員会のホームページからも簡単に入れます。

オンライン土浦会場でごいっしょに

2022年 日本平和大会

(11月26日~27日開催)

No!大軍拡・YES!憲法

土浦会場は11/26午後のプログラムのみ

11月26日(土)13:30~16:30

会場: ワークヒル土浦 特別会議室

シンポジウム

ロシアのウクライナ侵略と共に考える
どうしたら核兵器も戦争もない
アジアと日本をつくれるか



米戦略分析の第一人者
アメリカ
平和・軍縮・
共通安全保障キャンペーン議長
ジョゼフ・ガーンソン



非核平和の北東アジアを
韓国
韓神大学統一平和政策
研究院前任研究員
イ・ジュンキョ



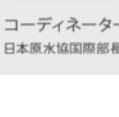
NATO加盟に反対
フィンランド
平和ユニオン議長
(元EU議員)
タリア・クロンベルク



日本
日本平和委員会常任理事
川田忠明



米英豪同盟にNO!
オーストラリア
反基地キャンペーン連合
ハンナ・ミドルトン



コーディネーター
日本原水協国際部長 土田弥生

※土浦会場参加は無料です。
※全日程参加のご希望の方はご相談ください。
(有料参加となります)
主催: 日本平和委員会、土浦平和の会

土浦憲法共同センター 次回行動は11月19日

11月街頭アピール行動

9条守れ、憲法生かせ!
ロシアはウクライナから撤退を!

11月19日(土) 午前10時~

ケーズデンキ真鍋店前

思い思いのメッ
セージ・プラカード
をもって、ふるって
ご参加ください。



新聞意見広告賛同のお願い

(前号に続き、再度のお願いです)

茨城県平和委員会では、今年も「平和意見広告」掲載の取り組みを進めています。

ロシアによるウクライナ侵略は、国際法や国連憲章に反する蛮行であり、許されません。この侵略戦争の中で、ロシアはウクライナ国内の原発を攻撃するとともに、核兵器の使用をも示唆しています。このことは、図らずも「核兵器が平和の安定につながる」という「核抑止論」が成り立たないことをあからさまにしました。

今年の意見広告で私たちは、

- 「ロシアによる侵略をただちにやめよ」
- 「日本政府は直ちに核兵器禁止条約に署名し批准せよ」
- 「東海第二原発を廃炉に」

と訴えます。

みなさまの厚いご賛同をお願いします。

【賛同いただける場合】

個人: 1人1口1,000円/団体: 1口3,000円

「申込書」は各種ルートで配布中です。

会員拡大にお力を
紹介 平和委員会の主な活動

日本平和委員会は 北海道から沖縄まで全国47都道府県で、草の根から平和を創るために活動しているNGO(非政府組織)です。

主な活動は

- 反戦平和を貫き、憲法第9条に軍隊としての「自衛隊」を書き込むことに反対しています。
- 核廃絶を願い、日本政府が「核兵器禁止条約」に署名・批准するよう求めています。
- 77年前戦場となった沖縄を再び戦場にしないために「基地のない平和な島」沖縄に連帯し、辺野古新米軍基地建設断念に賛同しています。
- ロシアによるウクライナ侵略に抗議し、各地でスタンディング(毎月24日水戸駅南口12時~13時、など)をおこなっています。国際世論の結集によって、ロシア軍の一日でも早い停戦と撤退を実現させましょう。

広範な世代に、行動参加と入会を勧めてください。

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費: 月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行): 月額593円(送料含)

